

家庭では
こんな学習を



低学年でまず身につけさせてほしいこと

- ◆「早寝早起き」「しっかり朝食」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」「忘れ物をしない」のが基本です。

学習の特徴

- 45分を1時間とした授業の中で「読み、書き、計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。その中には繰り返し練習することで力がつく内容がたくさんあります。
- 「正しい姿勢で座る」「えんぴつを正しくもつ」「明日の準備をする」「身の回りの整理整頓をする」ことが、学習の基本になります。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心となります。



家庭での援助

- 学習を始める前にテレビや電子・通信機器を消しましょう。
- 勉強する場の整理整頓をしましょう。
- 学校からの連絡やお便り、明日の授業などを子どもと一緒に確かめることが大切です。
- 学習時間を決めて、宿題を最後まできちんとできるようにさせましょう。
- 勉強が終わったら、必ず丸付けをし、まちがえところはやり直しさせましょう。
- 一緒に買い物をしたり、時計を読んだりしながら、子どもの生活経験を増やしましょう。

国語

(音読)

- ・楽しみながら、はっきりした声で読めるようにしましょう。
- ・句読点（ 、 や 。 ）に気をつけて読めるようにしましょう。
- ・会話文「 」は、登場人物の気持ちになって読めるようにしましょう。

(文字・漢字)

- ・ひらがな・カタカナ・漢字の書き順や形に気をつけて書きましょう。
- ・正しい姿勢で、丁寧にゆっくり書きましょう。
- ・文字の使い方や文章力を身につけるために、教科書の文章を視写（書き写し）しましょう。

(読書)

- ・子どもの興味や関心、学年に応じた本を家庭に置きましょう。
- ・読み聞かせをしてあげましょう。

算数

- ・計算力を向上させるには、まずゆっくり正確にできるようにし、正しい計算手順を確実に身に付けましょう。
- ・まちがった問題は必ず見直し、もう一度やり直しましょう。

その他

- ・その日の授業で習ったところや楽しかったところ、もっと知りたいことなど進んでやってみましょう。

たとえば

- ・虫の観察や日記づくり
- ・鍵盤ハーモニカの練習
- ・図鑑を使って調べ学習
- ・計算練習
- ・お話しづくり